



チャレンジだ!
 ひとむきな情熱でフェーム(名声)をつかめ。

——いつの日か、その名を知られる事を夢みる
 アクティブな青春がここにある——!

フェーム

Fame

アイリーン・キャラ★リー・キュレリ★ローラ・ティーン★アントニア・フランチェスキ★バリー・ミラー★ジーン・アンソニー・レイ★モーリン・ティーフ
 監督(ミッドナイト・エクスプレス)の アラン・バーカー★製作デビッド・テ・シルバ/アラン・マーシャル★脚本クリストファー・ゴア★音楽マイケル・ゴア★(サウンドトラック)ポリドール・レコード

〈カラー作品〉MGM映画 CIC 配給



5番街の気取りと42丁目の熱気、トップレス・ダンスとクラシック・バレエ、ロックスンロールとビバルディ……それがニューヨーク、それがフェーム！

ニューヨークのマンハッタンに現存する「芸能専門学校」EGS SCHOOL ON THE BROADWAYの「DANCE」にカメラを持ちこんで、入学から卒業までの4年間、演劇・作曲・歌・舞踊など自らが持ち合わせていると信じる才能にひたむきな情熱をぶっつけて、いつの日か全世界に知られる有名人になる事を夢見る若者たち——そんな彼らのフィリングやエネルギーを画面いっぱいにみせ、いわばドキュメンタリー・タッチで彼ら若者の大チャレンジを描いたドラマチックな映画、それがこの「フェーム」なのだ。

80年の春、まずニューヨークで催された覆面試写会で大反響を巻き起こし、その結果5月に入ると毎週ロス、ニューヨーク、トロントなどの大都市で一般試写会が開催されるといふアメリカとしては珍しい試写宣伝が大規模にくり広げられ、続いて全米各地で公開されるやたちまち興行成績の上位を突っ走ったその熱気がいま日本へやって来た。

監督は「ミッドナイト・エクスプレス」のアラン・パーク。『若い才能の爆発』をダイナミックに描きかつ、『信じるものに賭けること、奮闘すること、恋すること、賭けることから生じる苦悩を追求した』と述べる。

主演は2500人のオーディションから残った8人の若者だ。喜劇役者になる事を夢見るラルフ役のバリー・

★スタッフ

監督……………アラン・パーク
脚本……………クリストファー・ゴア
製作……………デビッド・デ・シルバ
……………アラン・マーシャル
音楽……………マイケル・ゴア
撮影……………マイケル・セラシン

★キャスト

ココ……………アイリーン・キャラ
ブルーノ……………リー・キュレリー
リサ……………ローラ・ティーン
ヒラリー……………アントニア・フランチェスカ
ラルフ……………バリー・ミラー
リロイ……………ジョン・アンソニー・レイ
ドリス……………モーリン・ティーフ
モンゴメリー……………ポール・マックレーン

ミラーは「サタデー・ナイト・フィーバー」に出演し、トラボルタのグループの一人で橋から転落する孤独な少年という役で記憶される方もいるだろうが、その他はそれぞれのキャリアで初の大役か、初の映画出演である。黒人とラテン系の血を持ち、圧倒的な美声でシンガーを夢見るココ役のアイリーン・キャラはブロードウェイ出身。内気な少女でステージ・ママの命令のままに動くドリス役のモーリン・ティーフは、「1941」で端役。裕福な家庭環境を持つがその態度は打ちとけない高慢なバレリーナ、ヒラリー役のアントニア・フランチェスカは「グリース」でダンサーの中の一人。スラム街で育った黒人で踊りには抜群の才能を持つが、ことごとくに反抗的な態度を示すリロイ役のジョン・レイはかつてローカルのデイスコダンス大会で優勝の経験を持つ。そして、傷つきやすい繊細な性格で俳優を志望するモンゴメリー役のポール・マックレーン。ダンサー志望だが情緒障害が少々みられるおしゃべりな女の子リサ役のローラ・ティーン。内気だが作曲に確かな才能を感じさせるイタリヤ系の青年ブルーノ役のリー・キュレリー等はまったく初めての映画出演である。

そう、頂度出演している彼ら自身の夢をそのままに、いつか名声を得る為にその青春を燃焼させる「フェーム」は、その純粋さゆえに、その現実感あふれる青春群像ゆえに、きつといつまでもあなたの胸に熱い感動とともに生き続ける映画となることだろう——



12月13(土)よ新春第一弾
日ロードショー!

特別鑑賞券¥1,200
絶賛発売中!
(一般¥1,500・学生¥1,300の処)

新宿アカデミー (202)
0141

日・祝及び6	9:10	11:35	2:00	4:35	7:10
平日及び元旦	11:35	2:00	4:35	7:10	